

**働く障がい者紹介 野菜の作業はお任せ！仲間と変わらない仕事をこなして5年目！**

JA ひまわり グリーンセンター音羽 星野友子サン (23歳)

店長や先輩、みんなから「ともちゃん」と呼ばれて愛されている星野友子さん。星野さんは18歳で高校を卒業してすぐに、ここ「JA ひまわり グリーンセンター音羽」に就職しました。若いけれどなんと5年目のベテランなのです。星野さんはバックヤードでさまざまな野菜の加工や梱包、花の整理などを担当。慣れた手つきでダンボールからレタスを手に取り、しおれた葉をはがしたり芯を切ったり…最後にビニールに包んでできあがり！店頭に出せるようきれいなレタスがどんどん並べられていきます。その中でも不思議と「レタスの作業が一番好き」。「ともちゃんには他の人と全く変わらない作業を任せていますよ」と店長。最初は作業をするのに時間がかかったり、うまくいかなかったりもしました。けれど、星野さんの持ち前の粘り強さと、周りの温かい指導もあって、今では何でもできるようになりました。「店長や先輩、仲間みんなよくしてくれます。みんなに『ありがとう』って伝えたいです」と星野さん。

普段は、大好きなジャニーズのグループの歌を聞いたり、友達とカラオケで歌ったり、映画を見に行ったり、プライベートを楽しんでいる様子。将来の夢は？と聞くと、「今の仕事が好きです。この仕事をずっと続けていけたらいいかな」とはにかんだ笑顔で教えてくれました。そして「結婚して子どもを持つこと」も夢のひとつなのだとか。「でも大好きなこの職場は結婚しても続けたいかな」。5年間ここで頑張ってきた星野さん。ここは星野さんにとって本当に大切な場所なのです。



レタスの包装を手早く行う星野さん。たくさんあるのでたいへんそう。

**働く障がい者紹介 みんなに慕われる、頼れるリーダー！**

株式会社ヤマハイワークス 原田貴志さん (37歳)



12年前、バイク事故を起こし、脊髄を損傷…車椅子を余儀なくされた原田貴志さん。けれどめげることなく、入院中に知ったという車椅子テニスをはじめ、健常者に混じって練習や大会にも参加。仕事でもがんばりが認められ、現在ではここ「ヤマハイワークス」で主任という役職を任せ、業務課約20人のまとめ役として活躍しています。

「ヤマハイワークス」は「ヤマハ株式会社」の特別会社としてできた会社。現在約35名の障がい者が働いています。けれど取りまとめ役になったのは原田さんが初めて。「会社としても期待していますよ！」と原田さんの上司。原田さんは穏やかで頼りがいのある人柄。みんなからとても慕われているそうです。それは原田さんが、能力や個性、障害の程度も大きく違うメンバー一人一人をよく分かっているからこそ。「それぞれ能力の差はありますが、みんなが仕事しやすいように考えています」と原田さん。周りには自然と人が集まります。「明るく和気あいあいとやっていますよ」とやさしい眼差しでみんなを見つめていました。



**働く起業家紹介 働く人々の強い味方！！**

タナカ社会保険労務士事務所 所長 社会保険労務士 田中康裕さん



「高齢者と障がい者の就労を応援したい」それが社会保険労務士（以下、社労士）田中康裕さんの目標。田中さんは左半身が思うように動きません。5年前突然の脳梗塞で左半身不随になってしまったのです。病になる前は30年の間ずっと洋食屋を営んでいた田中さん。そこでお店を経営していたときの雇用の知識を生かして社労士の資格を取り、約2年前に事務所を立ち上げました。「僕は経営者に労働者の雇用条件を上げるように勧めます。その方が企業も伸びますよ」と田中さんは働く人の味方。不自由な半身もなんのその、社労士として飛び回ります。そんな田中さんのことを知った企業から障害者雇用について尋ねられたり、障害者年金の受給資格がありながらも申請が通らなかった障がい者の人から質問を受けたり、障がい者に関わる相談を受けることも多くなっていったそう。「障がい者の方の雇用も支援できるように準備中です」と田中さん。「僕たちはどんどん外に出て行かないとね。みんなに見慣れてもらわなきゃ。社労士として、障がいを持つ者として、二つの力を持って私たちの助けとなってくれるのです。」

タナカ社会保険労務士事務所  
〒441-8032 豊橋市花中町3-2  
TEL: 0532-33-0518 E-mail: ansinkoubou@yahoo.co.jp

**大好きなカフェの仕事で新しい夢へ！**

中村文恵さん (51歳) 精神 訓練の種類：カフェ

カフェでコーヒーをいれたり、接客をしている中村さん。「接客は好きなので仕事は楽しいです」と明るく話してくれました。今は少しでも仕事に慣れていこうと一生懸命ですが、将来的には小さな喫茶店で働いて、いつか仲のいい友達とカフェを開きたいという夢を持ってがんばっています。



**めざせプロ級！みんなと共に成長中！**

森貴広くん (20歳) 身体 訓練の種類：パソコン

ワードにエクセル、web制作にマックなど… たくさんのパソコンのソフトを経験して、今は日商PC検定の合格を目指している森くん。試験は難しいけれど「とにかくパソコンがうまくなりたい」と意欲満々。ワードやエクセルを使う職を目指しつつ「web制作もしてみたい！」そう。将来が楽しみです。



**農業は楽しい！汗をかいてダイエット！？**

藤原龍一さん (46歳) 精神 訓練の種類：農作業

以前は入退院を繰り返すこともあったという藤原さん。でも今日は炎天下の中、元気に仲間たちとインゲンの収穫をしていました。農作業はここへ来て初めてだったそうですが「先生もみんなもいっしょに。何でも楽しいです」とのこと。今の目標は農業を続けること、そして夏の間には体重を落とすこと！毎日汗を流しています。



**Wacvac レポート 第3回ゆいフィールコンサート開催！**

テーマは「青春の輝きと愛」！チャレンジとミュージシャンがジョイント！障がい者も健常者も一緒になって舞台上立ち、自分たちの熱い思いを歌や演奏に込めてお届けする「ゆいフィールコンサート」も3回目！今回は「サザンオールスターズ」「桑田佳祐」の楽曲をそれぞれの楽器や声に合わせてアレンジ。夏にぴったりな楽曲、切ないバラード、元気をもらえる歌など名曲が目白押しです。テーマ「青春の輝きと愛」は年齢に関係なく青春をいつも胸に持っていたい、みんなで共に生きていきたいという思いを込めています。「サザン」の曲とともに、みんなでひとつになって、すばらしいひとときを過ごしましょう。



出演者  
☆山口理恵 & 小嶋良夫 & 田中和子  
ピアノ、サクソフ、大正琴の意外な組み合わせの合奏で華やかなオープニングを演出。  
☆け・あ・ら・い・ふ  
ボーカル・ギター、ピアノ、パーカッションの3人組が筋ジストロフィーの白井宏之の曲をリメイク。  
☆柳瀬けいことスーパーウィロウス  
ギター、ウッドベース、ピアノの演奏に合わせて、スーパーイングリッシュオーケストラの柳瀬けいこが青春を歌う。  
☆市野清美 & 山口理恵 + WAC 合唱団  
エレクトーン奏者・市野清美を中心に、合唱団がひとつになって歌います。



去年のコンサート。山口先生とチャレンジと子ども達。

場所：豊橋市民文化会館 大ホール  
日時：8月8日(日) 2時間場 2時半開演 参加費：800円  
\*参加費及び募金協力金、バザーの売上は当法人及びクラブハウス WANATH の障害者支援の活動費に利用させていただきます。

問合せ先 NPO 法人福祉住環境センター/ゆいフィールコンサート実行委員会  
〒440-0823 豊橋市南瓦町14-1 WACNET 内  
TEL: 0532-52-4315 FAX: 0532-56-0702  
E-mail: wac-net@hotmail.co.jp URL: http://www.wacnet.jp

**行って来ました、“アグリステーション食彩村” 農作物の売り方にも興味津々！勉強になりました！**

「JA あぐりパーク食彩村」は豊橋と田原との生産者が協力して作り上げたファーマーズ・マーケット。「産地消」を掲げ、生産者のためにできた一大施設。今回はWAC 農園メンバーと取材メンバー計6名の障がい者が参加。普段は農作業をしている仲間なので「食彩村」には興味津々。お店に入ってみると、中には今朝取れたばかりの新鮮野菜がずらり。並んでいるものは地元の農家が作った旬の農作物をはじめ、花や肉・魚、豆腐やジュースなどの加工品まで本場にさまざま。組合員の方が作ったという手づくりパンもありました。「広くて驚いた」という感想を聞かせてくれたのは農業チームのKさん。それもそのはず、450ほどの生産者がここ「食彩村」に登録していて野菜を出品しているのだそう。

「形は少し不揃いなものもあったよ、でも安かったです」とTさん。他にも「全体的に低価格！」「価格も安く新鮮だと思いました」など産直市場でその手頃な価格を感じたみたい。農家の方が今までは捨ててしまっていたり、ただ人にあげていただけだった少量しか作らない野菜もここなら売ることが出来ます。そのためにわたしたちは安く買うことができるそう。消費者にも生産者にもやさしい施設なのです。さらに、Wさんは「ラベルに生産者と産地名が書いてあった。包装紙は穴あきのビニール袋。自分たちが売ってる野菜もこうしていきたい！」と完全に生産者の目線。みんなたくさん刺激を受けて、自分たちの野菜づくりや販売に生かされていくに違いありません。

問い合わせ：JA あぐりパーク食彩村  
豊橋市東七根町一の沢113  
営業 9:30~18:00 水曜日定休 TEL: 0532-21-3901  
ルートナビ：豊橋技術科学大学を過ぎて一の沢橋を渡るとすぐ右手。



**行って来ました、施設見学！！**

東三河障がい者ごとセンター企画の「第9回施設見学ツアー」が、5月18日(火)に開催されました。今回は、参加メンバー11人。「千代田インテグレ(株)」「丸永」の2施設を工場見学をさせていただきました。

はじめに到着したのは「千代田インテグレ」。プリンターや携帯の部品、自動車の座席の図面や型紙に合わせた布の裁断などを行っています。作業効率を上げるために工場内は私語厳禁でした。ショーウィンドーの前で担当の方丁寧な製品の説明を聞き機械が好きなメンバーは興味津々。「工場に入れて貴重な体験ができた」(K)と満足でした。次に訪れたのは、額縁を製作する会社「丸永」。作業をしているのはほとんどが障がい者。手作業の多い工程ですが難しい作業も手馴れた手つきで進めていて、メンバーを感心させていました。「トンボ打ちの作業がとて難しいと思った」(I)との感想。働くことの大変さとプロ技のすごさを感じた一日でした。



千代田インテグレ株式会社 豊橋工場  
豊橋市東脇 3-21-3 TEL: 0532-32-1102  
株式会社 丸永  
豊橋市下条東町中屋敷 146-3  
TEL: 0532-88-7731

**FUTABA フタバ産業株式会社**

本社：〒444-8558 岡崎市橋目町字御茶屋1番地  
TEL: 0564-31-2212 FAX: 0564-31-2220  
E-mail: hiroki-kitamori@futabasangyo.co.jp

